

“もしも”の時に



救急カプセル



救急カプセルってなに？

自宅で具合が悪くなったときに「安全」と「安心」を守るための取組です。救急搬送時に必要な《かかりつけ病院》や《持病》などの情報を記入したカードをカプセルに入れ、冷蔵庫で保管することにより救急隊に必要な情報をいち早く伝えることができます。

このカプセルは119番通報時、本人等が病状の説明をできない場合、カードの情報をもとに《かかりつけ病院》や《搬送先医療機関》と連絡・連携し迅速な救急活動に役立ってます。

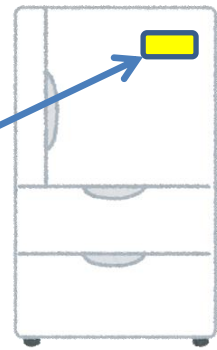
福島区各地域ネットワーク委員会

社会福祉法 大阪市福島区社会福祉協議会

協力：高齢者支援部会

①なぜ冷蔵庫？

駆け付けた救急隊員がすぐに救急カプセルを見つけ出すために、一番分かりやすい場所が冷蔵庫です。目印のシールを全面に貼ってもらうことで、救急カプセルの場所がすぐにわかります。



②救急情報カードって？

自宅で具合が悪くなったとき、「必要な情報」を救急隊員に伝えるのは大変困難です。情報カードは「必要な情報」を記入することによって、本人の状態に適した医療機関への搬送など、適切な救急活動をスムーズに行うためのものです。

③どうやって作るの？

使用済みのペットボトル（500ml）をきれいに洗って再利用することで、特別な費用などは一切かからず、簡単に作ることができます。まずは、ペットボトルの上から7～8センチのところを、はさみかカッターナイフを使って注意しながら水平に切ります。あとは救急情報カードなどの書類を入れ、テープなどで貼り合わせてください。

目印のシールを貼って出来上がりです。※緊急の際には、はさみを使って情報を取り出すことが可能ですので、ペットボトルを切ることが難しい方は、そのまま入れていただいても構いません。



お問い合わせは：福島区社会福祉協議会（地域支援担当）
TEL 6454-0531